

# ALESCO

No.12  
February, 2014

アレスコ【ALESCO】とは古代ラテン語で「成長する、発展する」という意味です。

夕映えの中海に帆を休めるヨット。  
逆光にもうかがえるセールの汚れを  
美しいと感じるのは、  
波風をとらえ煌めいた時間の  
痕跡に生きることを  
想うからかもしれません。  
真摯に今を生きている人が  
放つ命の輝きを・・・。

## INDEX

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 写真で綴る新入生宿泊研修会 .....               | 02 |
| 医学部長挨拶 .....                      | 05 |
| <b>医学部保健学科に寄せて</b>                |    |
| 保健学科長挨拶 .....                     | 06 |
| <b>新たなミッションを携え前進する保健学科</b>        |    |
| 卒業生便り .....                       | 07 |
| <第3回>保健師として活躍する卒業生                |    |
| トピックス .....                       | 08 |
| <b>看護学専攻のブログを始めました</b>            |    |
| 実習紹介 .....                        | 09 |
| <b>基礎看護学講座／成人・老人看護学講座／生体制御学講座</b> |    |
| 平成26年度学年暦／平成26年度学級教員 .....        | 12 |
| 平成24年度後援会事業報告／平成25年度後援会役員名簿 ..... | 13 |
| 平成25年度後援会事業計画／編集後記 .....          | 14 |



## ■ 新入生宿泊研修

これは、大学入学後様々な悩みを抱きやすい新入生を、早く大学生活に慣れるように支援するための宿泊研修行事ですが、同時に大学入門ゼミという必修の授業科目でもあります。平成25年度は4月20日(土)・21日(日)に実施いたしました。その一端をスナップ写真で紹介いたします。



1



2



3



4



5



6

① 新入生 ② 2年生アドバイザー ③ 引率教員 ④ ガイダンス ⑤ グループワーク ⑥ 部屋



大学生活を  
如何に生きるか



アイスブレイク



環境教育





ヒューマン  
コミュニケーション



食事



病院見学



## 医学部長挨拶

### 医学部保健学科に寄せて

医学部長  
福本 宗嗣

鳥取大学医学部保健学科は平成11年10月に開設され、平成16年には大学院の保健学専攻修士課程、平成20年には博士後期課程が設置され、着実な歩みを続けております。保健学科の看護学専攻、検査技術科学専攻とともに最初の1年間は湖山キャンパスで学習した後、米子キャンパスで学びます。保健学科で学んだ多くの優秀な人材が鳥取県内はもとより全国各地で活躍しておられます。このような保健学科の発展は、歴代の保健学科長や教職員の皆様のご尽力と後援会によるご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

平成25年11月に文部科学省から国立大学改革プランが発表され、12月には国立大学医学部医学科・生命科学科のミッションの再定義が公表されました。保健学科と臨床心理学専攻のミッションについては、昨年10月に文科省のヒアリングがあり、現在最終的な文案の取り纏めがなされています。文科省は平成26～27年度を改革加速期間と位置づけており、平成28～33年度の第3期中期計画では各大学のミッションに基づいた改革の進捗状況が細かく評価されると思います。

看護系大学数は、平成4年の14大学から平成24年には203大学に増加しました。入学定員は、平成4年の558人から16,876人に増加しています。この20年の間に、看護系大学が急速に増加し、ミッションの再定義の議論のなかでは、絶えず国立大学法人の看護学教育の意義は何か問われてきました。

当保健学科は、ミッション案の第一項目として、コミュニケーション能力を有する全人的医療人養成が取り上げられています。そして、大学院保健学専攻では高度な医療技術を持つ専門職業人としての医療現場のリーダーを育成するとともに、博士課程では看護と検査の両方の教員が連携して保健学の教育・研究者を育成することを目指しています。また、第2期がんプロフェッショナル養成事業では、平成27年度から博士前期課程にがん専門看護師のコースを設ける予定で準備しております。その他、医学系に初めてできた大学院臨床心理学専攻(修士課程)との連携も重要な課題です。

また、鳥取大学は地(知)の拠点整備事業が採択され、平成26年度から医学部では保健学科が中心となり地域の保健・医療を担う医療人育成教育プログラムの開発、地域課題に資する研究、地域貢献活動等が取り組まれます。今後、保健学科と医学科の共同の実地教育についても検討を始めたいと思っています。少子高齢化が一層進展する社会状況のなかで、医学部保健学科の存在意義をしっかりと見据えて、大学教育の改革実行に取り組んでいく所存です。後援会の皆様には引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。





## ■ 新たなミッションを携え 前進する保健学科

保健学科長  
花木 啓一

平成11年10月に設置された鳥取大学医学部保健学科は、この春に第11期の卒業生を送り出します。今までに保健学科が輩出した看護学士と保健学士は、1400名を超えるまでになりました。卒業生の多くは、高度化の進む医療、福祉、保健の分野で、看護師、保健師、助産師、臨床検査技師として、医療機関、企業、自治体等の幅広い職域でそれぞれ活躍しています。また、卒業後に本学にも設置されている保健学専攻などの大学院を修了するなどして、教育者の道に進む卒業生も目立ってきました。今日まで、保健学科がその使命を果たしてきてくれたのも、卒業生をはじめ、保護者、後援会、同窓会等関係各位の皆様方のご支援、ご協力の賜物に相違ないと深く感謝いたしております。

最近の少子化の進行にもかかわらず、特に医療系大学、なかでも看護系大学の数は急激に増加しております。保健学科が設立された平成12年には84校の看護系大学が、現在では210校を超える勢いです。このような状況で、それぞれの大学は、自らの果たす役割や特色を、社会に対して明確に指し示すことが求められるようになってきています。現在、文科省は全国の大学にその使命(ミッション)を再定義するように求めており、本学でも、保健学分野が今後果たすべきミッションの再定義を進めています。その中で、保健学科と大学院保健学専攻が養成する人材像の目標の一部をご紹介します。

- 1) 他者とのコミュニケーション能力と、不安を抱える患者への理解やいたわりの心を持った全人的医療人
- 2) 臨床実践力を有し、多職種連携によるチーム医療のなかで中心的役割を果たすことができる人材
- 3) 高度な医療技術を持つ専門職業人としての医療現場のリーダー
- 4) 「心と科学の統合」を目標とする保健学の教育・研究者

遠すぎる目標だとお叱りを受けるかもしれません。ただ、このミッションは、「社会の要請に応えることのできる保健学科の人材育成」という視点で策定されたものですので、まずは「高い目標をかかげる」ことを重要視したものです。高い目標を掲げ、学生も教員もそれに向かって専心努力するという図式ですので、暖かく見守っていただけましたら幸いです。

医療の高度化の波は、保健学科の学部教育にも影響していますが、卒後教育への影響はさらに大きいです。がん化学療法看護認定看護師、細胞検査士、超音波検査士、認知症専門検査技師の専門資格カリキュラムに加えて、現在、大学院保健学専攻博士前期課程に、がん専門看護師コースを設置準備中です。

地域の特性を活かした教育・研究の分野は、保健学科のお家芸です。平成25年度には文科省「地(知)の拠点整備事業」に採択され、看護学・保健学地域チーム実習プログラムが動き出しました。高齢化社会の特性を活かした、認知症や呼吸器疾患の診断治療機器の研究開発も進んでいます。

最後になりましたが、今後の保健学科の大きな飛躍に向けて、皆様方のさらなるご指導、ご支援を賜うことができますよう、よろしくお願い申し上げます。保健学科に入学したすべての学生が、さまざまな人と出会い、知識や技能を吸収し、人として大きく成長して卒業していかれることを心よりお祈り申し上げます。

## ■ <第3回>保健師として 活躍する卒業生

看護学専攻 第7期生  
余村 洋子 さん

はじめの3年間は感染症の担当でした。具体的には、結核患者さんやご家族の支援、エイズ・性感染症の予防啓発、相談、検査などに取り組みました。結核など感染症の発生は、いつどんな形で飛び込んでくるかわからないので、日々せわしく感じますが、結核患者さんやご家族が、少しでも安心して、適切な療養ができるように、服薬等を支援するために家庭訪問をしたり、家族や周囲の人への拡がりを防ぐよう検診の調整などをします。また、専門職として、県民の方に向けた正しい知識の普及・啓発をすることで、少しでも早期発見につなげたり、結核患者さんに対する理解を広めることも必要かと思えます。エイズ・性感染症の予防啓発は、地域の学校やメディア等と連携し、正しい知識の普及・啓発をし、理解してもらうことで、自ら検査を積極的に受けるなど、予防行動がとれる人が増えたり、エイズ患者さん等への偏見が減らせるよう取り組んでいます。保健所では無料でエイズ、性感染症の検査をしていますが、検査することはもちろん、相談を受けたり、予防についてお伝えできる機会にもなっています。また、学校等での出張検査を実施したり、休日や夜間に検査を実施することで、なるべく多くの方に受けてもらえるような工夫もしています。

そして、現在は母子保健、思春期保健、子育て支援の担当をしています。今、住民への身近な保健サービスや直接的な支援は市町村の役割になっていますが、直接支援に携わる市町村保健師や医療機関の関係者が連携して、切れ目のない支援ができるよう、又、より効果的に事業を進められるよう、体制整備の推進に取り組んでいます。

これまで、様々な取組を行ってきましたが、私の中で、大学時代の出会いや、経験したことは、全て今の自分につながっていますし、様々な場面で役立っているように感じることも多々あります。中学校や高校に出向き、性に関することや、自分の将来について一緒に考え、自分も相手も思いやること、責任を持って自己決定することの大切さを伝える活動を、Peer in Heart(ピアインハート)というサークルでしており、そのときの知識や、人との関わり方、健康教育をするときのノウハウ等は、保健師の仕事にも活かすことができている。サークル活動を通して出会った方とのつながりは、社会人になった今でも続いています。

また、大学でお世話になった先生の中には、保健師の経験をお持ちの方も多かったので、卒業後も、仕事のこと、プライベートのことを相談できる大きな力となってくださっています。

保健師になって、いろんなことを経験することで自分の世界が広がること、人とのつながりを大切にしていれば、どこかで助けになってくれることを、より強く感じています。これからも、これまでの経験と出会いを大切に、がんばってまいります。

みなさんこんにちは!鳥取大学医学部保健学科看護学専攻第7期生の余村洋子です。私は大学を卒業後、現在の職場である、鳥取県西部総合事務所福祉保健局(米子保健所)に保健師として勤め、今年度で4年目になりました。仕事をすることで、保健師だけでなく、職場内の他の職種(管理栄養士、歯科衛生士、医師、衛生技師、主事など)や、他機関とのつながり、連携を大切にしています。



## ■ 看護学専攻のブログを始めました

成人・老人看護学講座 教授  
片岡 英幸

少子化の影響で18歳の人口は年々減少しています。各大学間の受験生獲得競争は激しさを増し、他学部 비해受験生が確保しやすい看護系学部を新たに開設する大学が増加しています。日本全国で看護系大学は平成26年度には17校、平成27年度には11校の新設が予定されています。とくに近畿地方、中国地方の新規開設が多く、鳥取大学が直接影響を受けることは間違いありません。

きっかけの話はさておきとして、ブログの読者の対象には、鳥取大学へ進学を考えている受験生はもちろん、受験生の父兄も想定しています。米子キャンパスは安心して進学でき、勉強に打ち込める環境であることを知ってもらいたからです。在校生が学問・課外活動等に励んでいる姿や卒業生の職場で活躍する姿を日々紹介することで、父兄の方々にこの大学なら信頼して子供を預けることができると感じていただきたいと思っています。

大学生生活を夢見る受験生は、都会生活に一度はあこがれると思います。都会の繁華街も魅力ですが、繁華街をエンジョイするには、それなりの資金が必要となります。アルバイト生活に明け暮れるか、繁華街をながめているだけか、いずれにしても、華やかな都会を満喫するには難しい側面があります。また、人口の多い都市に大学があってもキャンパスは中心街から離れたところに立地している大学も少なくありません。その点、鳥取大学米子キャンパスは街の中心部に位置し、繁華街といえるほどのものはありませんが、自転車で買い物・食事に出かけることができ、普段の生活には事欠きません。物価が安いので金銭的にも学生にやさしいという利点があります。

看護学専攻は1学年あたり80名の定員です。国公立大学の中では最多の部類に入ります。医学部全体では、1学年あたり医学科110名(2年次以降)、生命科学科40名、保健学科検査技術科学専攻40名、計270名になります。

1年次、2年次には保健学科だけでなく生命科学科とも合同で講義が行われる機会が少なくありません。総勢160名が大講義室で講義を受けます。大学で学ぶという実感を最も感じる事が出来る瞬間ではないかと思えます。こういった入学試験の募集要項には書いていない内容を紹介できることがブログのメリットになります。

これまでブログに取り上げたコンテンツは、授業風景、学園祭、大山研修、高校生の大学・病院見学、病院実習、大学周辺の観光スポット、研究発表会、大学院の授業風景、受験案内、附属病院の行事など様々です。大学周辺にはお金のかかる遊び場所が少ない分、課外活動が盛んです。文化系サークル、体育系サークルが合計53もあり医学部全体で活動しています。これからは学生の課外活動もどんどん取材していきたいと考えています。

ブログを書く上で心がけていることは、画像の取り扱いです。最近ではカメラが高性能になり、そのままの画像をアップロードすると顔の特徴を解析して個人を特定することが可能になっているようです。そこでアップロードする画質は、家族や友人にはなんとかわかる程度で、第三者が別の用途で利用できないように画像の解像度を小さくしています。また、患者さんなどが写真に写った場合には、目にぼかしを入れて補正しています。

最後に皆様へのお願いです。これまでにブログのアクセス数は15000を越えました。ブログの更新が頻回に行われるほどアクセス数が増えます。どんな些細なことでも結構ですので、教職員、在校生、卒業生の皆様からブログに掲載する情報をお待ちしています。

平成25年4月から看護学専攻のブログを始めました。直接のきっかけは平成25年度の入学試験受験倍率が低下し、さらなる減少を食い止めるため、積極的に受験生獲得に取り組む必要性があったからです。生命科学科、保健学科検査技術科学専攻では、一足早くブログを始めておられ、その効果が徐々に現れてきているとのことでしたので、看護学専攻でも導入することに決めました。



## ■ 基礎看護学講座



基礎看護学実習は、看護学専攻学生が初めて経験する臨床実習です。1年生後期に週1回の基礎看護学実習Iと2年生前期に基礎看護学実習IIの2週間の集中実習を行います。

1年生後期には、家庭訪問および附属病院の病棟で入院されている方のベッドサイドを訪問し、インタビューを通して健康や生活、環境についての考えや、生活するうえで大切にしておられること、気をつけておられることなどをお聞きします。さらに外来通院や入院による生活の変化、それによる身体的・心理的・社会的状況の変化、その変化に対してどのように思っておいでなのかを伺い、学生がその意味について考えていきます。個々の学生が体験したことを基にグループ内での意見交換およびグループ発表を行い、人は様々なことを経験し、多様な考えをもって懸命に生活していることを学びます。一方、相手の方にお話を伺うためにはどのように向き合っていけば良いのか、難しさとともに喜びも感じる機会となっています。

基礎看護学実習Iでは、講義で学んだことが病院や施設では実際にどのように行われているのかについても学びます。病院環境を生活の場として捉え、病棟内の設備の観察、明るさや広さの測定、ベッド周辺の状況や使い勝手などを調査するとともに、入院されている方からも環境についてお話を伺います。さらに附属病院以外の病院や老人保健施設なども見学し、特徴などを比較検討して幅広く学びます。

2年生前期の集中実習では、病棟で看護師とともに行動し、看護師が行っている看護援助について、患者の安全、安楽を守り、その人に適した援助方法を選択、実施し、患者の様子を観察していることを具体的に学びます。さらに、種々の医療職がチーム医療を実施していることを学びます。この実習では、療養生活を送っている方に対して、基本的な生活援助を行いながら、健康と病むことおよび看護の意味について考えていきます。学生は入院中の方を受け持ち、その人が必要としている看護援助を考え、看護師の指導のもとに実際に援助を行い、それを評価するとともに、看護を行う上で患者とのより良い人間関係の形成についても学習します。

以上のように、相手の立場に立って考えるためには、他者を理解しようとする姿勢や価値観を尊重することが重要であることを基礎看護学実習で修得していきます。看護援助においては、生活環境を整えること、活動と休息のバランスをとること、身体の清潔を保つこと、バイタルサインの測定などを実践することがありますが、講義や演習で学んだこととまったく同じとは限りません。ひとりひとりの個性や状況に応じて、どこが異なるのか、なぜ異なるのかを考え、理由や根拠をふまえた看護援助を行うために、学生自らが調べ、考え、そして実施する初めての臨床実習となります。最後に、実習は患者さんの協力がなくては成り立ちません。ご協力いただく方々から学生はとても多くのことを教えていただきます。感謝するとともに、責任の重さも学んでいきます。



## ■ 成人・老人看護学講座

成人・老人看護学講座の臨地実習は、成人看護学実習I・II、老年看護学実習の3科目です。各科目3週間の期間、附属病院や関連施設で実習しています。臨地実習は、学生が対象者のニーズに応じた看護実践を行い、その中で援助する喜びを体験し、的確な観察力、判断力など幅広い実践知を養い、専門職として自ら成長できる基盤を身に付けていく過程です。

### ■ 成人看護学実習I(慢性期看護)

成人看護学実習Iでは、慢性的な経過をたどる病気を持ち、病と共に生きる方を受け持たせていただき、附属病院で実習を行っています。学生は、病や治療法がもたらす心身の機能低下、生活への影響を理解し、患者の健康状態に応じた援助を実践できる能力を養います。特に慢性的な経過をたどる病気を持つ方への看護実践には、患者を生活者として捉え、患者自身が病気や治療によって起こり得る症状や障害に対応し、自己管理できるよう支援するための実践能力が必要となります。学生は、看護の難しさ、奥深さを体験し、3週間の実習終了時には、自己成長感や達成感を感じています。

### ■ 成人看護学実習II(急性期・周手術期看護)

成人看護学実習IIでは、学内で周手術期看護<sup>※1</sup>、クリティカルケア看護<sup>※2</sup>の基本的な知識・技術を習得した後、患者への援助技術を実施します。周手術期看護では術前の手術療法の選択と決定を含め、患者が主体的に治療過程に参画し、新たな療養行動構築への支援を学びます。クリティカルケア看護を必要とする患者は、全身の諸臓器、組織、細胞が疾患または治療による影響を大きく受けています。一時的にICU(集中治療室)などに入り、身体機能の安定化や合併症の予防、最大限の人間らしさの確保など、患者が安心して生命を託せるよう環境を整え、患者自身の力で生命維持が可能になるように、その過程に対して援助を体験します。

※1…周手術期看護とは「手術患者の入院から退院までの期間に患者に提供される看護ケア」

※2…クリティカルケア看護とは「救命治療を受けている生命の危機状況にある患者への看護」

### ■ 老年看護学実習

老年看護学実習では、加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴と、人生の統合期である発達課題を理解し、個性に応じた看護が展開できる能力を養うことを目的にしています。実習施設は、米子市内のリハビリテーション専門病院や特別養護老人ホーム等です。学生は、脳血管障害や骨折後の後遺症に対するリハビリテーション、または認知症高齢者への看護援助を通して、保健・福祉・医療分野の専門職との連携を体験し、高齢であっても回復する過程や障害を持ちながら自立を目指す姿より、高齢者を理解し、看護への意欲を高めています。



## ■ 生体制御学講座

生体制御学講座では、検査技術科学専攻の学生を対象とした実習を担当しています。全学共通科目として、1年生には化学実験演習、物理学実験演習を、また、専門科目として、2年生には人体組織学実習、生理情報検査学実習、医用工学実習、分析検査学実習を、3年生には環境衛生学実習を実施しています。

### ■ 化学実験演習

個人または2~4人のグループで、金属イオンの分離・検出、キレート滴定などの滴定分析、pH計や分光光度計を用いた機器分析、振動反応などの実験を行います。これらの実験を通して、分析化学の基本的な考え方と基礎技術を身につけること、実験結果をレポートにまとめる能力を養うことを目標としています。

### ■ 物理学実験演習

物理学実験演習では2年次で学ぶ医用工学への下準備を兼ねて、電気と電子の回路や電磁誘導に関する実験をします。高校で物理を履修していなくても理解できるように、開始前に十分時間を取って実験内容を説明します。実験は数人ずつのグループに分かれて、グループ内或いはグループ間で協力しながら行います。

### ■ 人体組織学実習

人体組織標本を使って、各臓器の組織や細胞の構造を各自の顕微鏡で観て勉強します。人体の各臓器はそれぞれ別個の機能を持っているので、臓器を構成する細胞や組織には特徴的な構造があります。

### ■ 生理情報検査学演習

生理情報検査学実習では、グループに分かれて、視覚・聴覚刺激に対する応答時間の測定、味覚の半定量的測定、赤血球の浸透圧抵抗性試験などを行っています。感覚機能の評価に関する演習では、問題設定からデータの解析まで、全て学生に自主的にやってもらっています。赤血球の浸透圧抵抗性試験では、学生は初めてヒトの血液を扱うことになるので、教員とともに初歩的な注意事項を確認しながら進めていきます。

### ■ 医用工学実習

医用工学の講義で学んだ回路素子やセンサーを利用した回路を、実際に作成してそれらの特性を調べます。電気信号が時間変化する様子をピコスコープというパソコン接続のAD変換器を使って観測します。こうすることで瞬間的な電圧変化の波形を目で見えて理解します。医療の現場にあふれる機器の動作原理を、少しでも理解できるようになることを目的にします。

### ■ 分析検査学実習

分析検査学実習は、主に臨床化学分野での分析機器の測定原理の理解、検体や試薬の取り扱い方などをはじめとする基礎的技術の習得を目指しています。器具の持ち方に始まり、学んだ技術を使って実際に生体成分をはかります。正確で精密な結果が出せるよう、少しずつ経験を積んでいきます。

### ■ 環境衛生学実習

環境衛生学実習は、「疾病予防のための環境」という観点から前期において環境衛生学の講義で学んだことを「実習を通して体験し習得する」ことを目標にしています。内容としては、①認知症の介入研究(アロマの香りによる介入)、②下水検査、③飲料水検査、④室内環境調査の4項目を行います。①では疫学調査の体験を、②ではいろいろな場所から採水をして水質検査(CODの測定、他)を、③では種々の飲料水を検査して安全性を確認し、④では場所を学生が選択して、環境調査を行います(湿度、騒音、他)。環境について学ぶと同時に、いずれも国家試験にも出題される内容を実習できるものです。



①…………… 実習風景(人体組織学実習)  
②…………… 下水の検査(環境衛生学実習)  
③…………… 室内環境の検査(環境衛生学実習)

## 平成26年度 学年暦

### 鳥取キャンパス(1年次のみ)

| 事項                 | 月 日               |
|--------------------|-------------------|
| 学年開始(前期開始)         | 4月1日(火)           |
| 春季休業日              | 4月1日(火)～8日(火)     |
| 全学共通科目オリエンテーション    | 4月1日(火)・2日(水)     |
| 入学式・全学新入生オリエンテーション | 4月7日(月)           |
| 各学部新入生オリエンテーション    | 4月8日(火)           |
| 前期授業開始             | 4月9日(水)           |
| 火曜日の授業を振替実施        | 4月30日(水)          |
| 月曜日の授業を振替実施        | 5月22日(木)          |
| 鳥取大学記念日            | 6月1日(日)           |
| 火曜日の授業を振替実施        | 6月13日(金)          |
| 前期定期試験             | 7月29日(火)～8月4日(月)  |
| 夏季休業日              | 8月5日(火)～9月30日(火)  |
| 前期終了               | 9月30日(火)          |
| 後期開始               | 10月1日(水)          |
| 後期授業開始             | 10月1日(水)          |
| 月曜日の授業を振替実施        | 10月15日(水)         |
| 月曜日の授業を振替実施        | 11月27日(木)         |
| 冬季休業日              | 12月20日(土)～1月4日(日) |
| 月曜日の授業を振替実施        | 1月13日(火)          |
| 大学入試センター試験準備による休講  | 1月16日(金)          |
| 後期定期試験             | 2月4日(水)～2月10日(火)  |
| 卒業式                | 3月18日(水)          |
| 春季休業日              | 3月19日(木)～3月31日(火) |
| 学年終了(後期終了)         | 3月31日(火)          |

※4月19日(土)・20日(日)は保健学科新入生宿泊研修を行う。

### 米子キャンパス(2年次以上)

| 事項            | 月 日               |
|---------------|-------------------|
| 学年始(前期始)      | 4月1日(火)           |
| 米子地区オリエンテーション | 3月31日(月)          |
| 前期授業開始        | 4月1日(火)           |
| 鳥取大学記念日       | 6月1日(日)           |
| 前期授業及び試験終了    | 8月15日(金)          |
| 夏季休業日         | 8月16日(土)～9月30日(火) |
| 前期終了          | 9月30日(火)          |
| 後期開始          | 10月1日(水)          |
| 後期授業開始        | 10月1日(水)          |
| 冬季休業日         | 12月27日(土)～1月4日(日) |
| 後期授業及び試験終了    | 2月27日(金)          |
| 卒業式           | 3月6日(金)           |
| 春季休業日         | 3月7日(土)～3月31日(火)  |
| 学年終了(後期終了)    | 3月31日(火)          |



## 平成26年度 学級教員

### 看護学専攻

| 入学年度   | 学 年 | 氏 名                 | 所属講座       |
|--------|-----|---------------------|------------|
| 平成26年度 | 1 年 | 山本 美輪 教授 / 西尾 育子 講師 | 成人・老人看護学   |
| 平成25年度 | 2 年 | 深田 美香 教授 / 奥田 玲子 助教 | 基礎看護学      |
| 平成24年度 | 3 年 | 松浦 治代 教授 / 仁科 祐子 講師 | 地域・精神看護学   |
| 平成23年度 | 4 年 | 花木 啓一 教授 / 鈴木 康江 教授 | 母性・小児家族看護学 |

### 検査技術科学専攻

| 入学年度   | 学 年 | 氏 名                      | 所属講座    |
|--------|-----|--------------------------|---------|
| 平成26年度 | 1 年 | 廣岡 保明 教授 / 中川真由美 講師      | 病態検査学講座 |
| 平成25年度 | 2 年 | 網崎 孝志 教授 / 藤原 伸一 准教授(予定) | 生体制御学講座 |
| 平成24年度 | 3 年 | 鯉岡 直人 教授 / 福田千佐子 准教授     | 病態検査学講座 |
| 平成23年度 | 4 年 | 浦上 克哉 教授 / 高村 歩美 講師(予定)  | 生体制御学講座 |

※両専攻とも1年生については、上記保健学科教員以外に、湖山キャンパスの教員数名が学級委員として学生の指導・相談の任にあっている。

## 平成24年度 鳥取大学医学部保健学科後援会事業報告

### 教育助成

- 入学関連
  - 入学式
  - 新入生オリエンテーション
  - 新入生合宿研修  
【平成24年4月21日～22日】
- 大学説明会関連
  - オープンキャンパス  
【平成24年8月4日】
- 教育関連
  - 新入生ふれあい朝食会
  - 2年次学生と教員の懇談会
  - 優秀学生表彰
  - 看護学専攻・検査技術科学専攻へ助成
  - 全学共通教育協力金へ助成

### 国家試験対策

- 看護師等国家試験対策模試
- 臨床検査技師国家試験対策模試

### 就職対策

- 教員による病院等の就職先への訪問

### 医学部国際交流助成

- 国際交流協定校との交流

### 文化行事援助

- 錦祭

### 後援会運営

- 保健学科広報「アレスコ」発行
- 後援会役員会

## 平成25年度 鳥取大学医学部保健学科後援会役員名簿

### 会長・副会長・常任理事・理事・監事

| 役職名   | 氏 名   | 専攻・年次      |
|-------|-------|------------|
| 会 長   | 廣田 裕  | 看護学専攻4年    |
| 副 会 長 | 松本 隆  | 検査技術科学専攻4年 |
| 副 会 長 | 市田 典浩 | 看護学専攻3年    |
| 常任理事  | 西村 祐二 | 検査技術科学専攻4年 |
| 理 事   | 小椋 克久 | 看護学専攻4年    |
| 理 事   | 下原 勝利 | 看護学専攻3年    |
| 理 事   | 山口 秀美 | 看護学専攻3年    |
| 理 事   | 藤原 茂樹 | 検査技術科学専攻3年 |
| 理 事   | 北川 友之 | 検査技術科学専攻2年 |
| 理 事   | 關 一 恵 | 看護学専攻2年    |
| 監 事   | 花田 武  | 看護学専攻3年    |
| 監 事   | 松重 嘉真 | 検査技術科学専攻3年 |

### 顧問・幹事

| 役職名 | 氏 名   | 役職指定             |
|-----|-------|------------------|
| 顧 問 | 花木 啓一 | 保健学科長            |
| 顧 問 | 中條 雅美 | 医学部学生生活委員会委員(看護) |
| 顧 問 | 松田 明子 | 医学部学生生活委員会委員(看護) |
| 顧 問 | 浦上 克哉 | 医学部学生生活委員会委員(検査) |
| 顧 問 | 市川 修  | 医学部学生生活委員会委員(検査) |
| 幹 事 | 前田 佳哲 | 学務・研究課長          |
| 幹 事 | 井中 康夫 | 学務・研究副課長         |

## 教育助成

### 入学関連

- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 新入生合宿研修  
【平成25年4月20日～21日】

### 大学説明会関連

- オープンキャンパス  
【平成25年8月3日】

### 教育関連

- 新入生ふれあい朝食会
- 2年次学生と教員の懇談会
- 優秀学生表彰
- 看護学専攻・検査技術科学専攻へ助成
- 全学共通教育協力金へ助成

## 国家試験対策

- 看護師等国家試験対策模試
- 臨床検査技師国家試験対策模試

## 就職対策

- 教員による病院等の就職先への訪問

## 医学部国際交流助成

- 国際交流協定校との交流

## 文化行事援助

- 錦祭

## 後援会運営

- 保健学科広報「アレスコ」発行
- 後援会役員会

## 編集後記

鳥取大学医学部保健学科広報誌、アレスコ (ALESCO) 第12号を発刊いたしました。  
今回は、「写真で綴る新入生宿泊研修会」を始め、医学部長、保健学科長からのご挨拶に続き、「トピックス」として看護学専攻のブログについてもご紹介いたしました。検査技術科学専攻のホームページも工夫を凝らしています。ぜひ保健学科のホームページをご覧ください。また昨年度から掲載を始めた卒業生便りは、今年度は看護学専攻の卒業生をお願いいたしました。シリーズとなっております実習紹介は、基礎看護学講座、成人・老人看護学講座、生体制御学講座を掲載いたしました。ささやかではありますが、アレスコを通じて、保健学科の「成長・発展 (アレスコ)」の姿と学生生活の一端を感じ取っていただければ幸いに存じます。

広報委員会委員長 南前 恵子